

産経新聞 27.7.23

育鵬社の教科書採択 東京都教委、歴史と公民

東京都教育委員会は23日、都立中高一貫校の10校で来春から4年間使う歴史と公民の教科書に、育鵬社（東京）の教科書を採択した。同社は「新しい歴史教科書をつくる会」に協力していた扶桑社の子会社。

採択は教育長と5人の委員の無記名投票で、うち4人が選んだ。前回平成23年も同社の教科書が採択された。

都教委はこの日、都立特別支援学校中学部で使う歴史と公民の教科書についても、同社の教科書に決めた。